

ひたちなか市では水害から市民の生命・財産を守るため様々な治水対策を推進しています。
国・県・市を問わず市内で行われている治水対策についてご紹介していきます。

治水事業の年末年始工事日程のお知らせです。【国・茨城県・ひたちなか市】

2023年は、台風13号に伴う線状降水帯の大雨等の影響により、ひたちなか市でも市街地等で道路冠水や浸水被害が発生しました。今後も引き続き整備を行い、治水対策を進めていきます。

今年も残すところ数日となり、年末にかけて公共事業による規制から市民の皆様へ、ご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力をお願いします。来年も引き続き、皆さまに本市の治水情報をお届けします。今後も安全に十分気を付けて工事を行ってまいります。今月号は、年末年始の工事日程をお知らせします。

那珂川緊急治水対策プロジェクトのお知らせです。【国】

令和5年12月現在の那珂川緊急治水対策プロジェクトの工事箇所は、4箇所で行っています。築堤工事が2箇所、樋管改修工事が2箇所で行っています。年末年始の工事休止期間をお知らせします。



③R4 那珂川左岸三反田地区築堤工事



①R4 那珂川左岸美田多町地区築堤工事

②R4 那珂川左岸小場江排水樋管改築工事



④R3 那珂川左岸百色山排水樋管改築工事

① R4 那珂川左岸美田多町地区築堤工事：昭和建設(株)

→12月29日(金)～1月4日(木)7日間

② R4 那珂川左岸小場江排水樋管改築工事：大日本土木(株)

→12月29日(金)～1月8日(月)11日間

③ R4 那珂川左岸三反田地区築堤工事：松崎建設(株)

→12月29日(金)～1月7日(日)10日間

④ R3 那珂川左岸百色山排水樋管改築工事：株木建設(株)

→12月29日(金)～1月4日(木)7日間



※左記のとおり年末年始はお休みします！
来年もご理解とご協力をお願いします。

茨城県の年末年始工事日程のお知らせです。【茨城県】

茨城県とひたちなか市が連携しながら、本市の治水対策「中丸川流域における浸水被害軽減プラン（100mm/h 安心プラン）」を進めています。茨城県は、中丸川調節池整備と中丸川改修工事（一部区間）の治水対策を実施しています。中丸川調節池整備について、2023年も地元の皆様のご理解とご協力ををいただきありがとうございます。本号では、年末年始の工事日程をお知らせします。今後も安全に十分気を付けて作業を行います。来年もご協力をお願いします。

中丸川調節池整備のお知らせです。【茨城県】

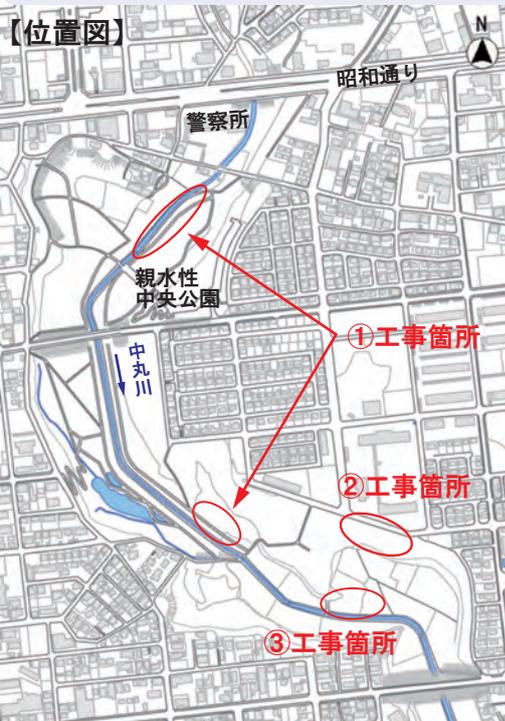
茨城県でひたちなか市の治水対策を行っている中丸川調節池整備は、現在（令和5年12月時点）、3箇所で行っています。

【工事の内容について】

- ①は、現在の河道の位置では、これから整備する築堤に影響することから、中丸川の2箇所で行っている河道の付け替えを行い河道の位置を変える工事を実施しています。
- ②は、調節池が満水になった場合に、溜まった水が直接堤防を越えないように、安全に水を流すための施設（洪水吐施設）を整備しています。
- ③は、調節池の堤体の基礎として、盛土の重さに耐えられるように地盤を整備しています。

茨城県では、このような大規模な工事をひたちなか市の治水対策のために行っています。年末年始の工事は、下記のとおりお休みします。来年もご協力をお願いします。

【位置図】



【中丸川調節池河道付替工事状況：令和5年12月時点】 【中丸川調節池洪水吐施設工事状況：令和5年12月時点】

- ① 中丸川調節池河道付替工事：(株)大曾根建設
→12月29日(金)～1月4日(木)7日間
- ② 中丸川調節池洪水吐施設工事(その4)
：東水・横信特定建設工事共同企業体
→12月29日(金)～1月4日(木)7日間
- ③ 中丸川調節池基盤整備工事(その2)：ネモト建設工業(株)
→12月30日(土)～1月4日(木)6日間

一級河川中丸川河川改修工事のお知らせです。【茨城県】

【位置図】



中丸川河川改修事業は、下流から順に河川改修を進め、河道を広げています。現在、道栄橋周辺の河川改修が一部完成し、引き続きその上流箇所を工事しています。その周辺も含め左記の位置図により、大川合流部の上下流の2箇所で行っています。来年も引き続き工事を行います。年末年始の工事は、下記のとおりお休みします。来年もご協力をお願いします。



- ① 河川改修工事：横信建材工業(株)
→12月29日(金)～1月8日(月)11日間
- ② 河川改修工事：(株)上肥
→12月29日(金)～1月8日(月)11日間

↑右上の写真は、禰宜橋付近から下流を撮影。
→右下の写真は、大川合流部付近から下流を撮影。

市の年末年始工事日程のお知らせです。【ひたちなか市】

茨城県とひたちなか市が連携しながら、本市の治水対策「中丸川流域における浸水被害軽減プラン（100mm/h 安心プラン）」を進めています。ひたちなか市では、一級河川大川と市内の雨水幹線等の治水対策を実施しています。ひたちなか市の治水対策について、2023年も地元の皆様のご理解とご協力をいただきありがとうございます。本号では、年末年始の工事日程をお知らせします。今後も安全に十分気を付けて作業を行います。来年もご協力をお願いします。

一級河川大川改修工事のお知らせです。【ひたちなか市】

大川改修工事：八木・ストウ特定建設工事共同企業体

→12月28日（木）～1月4日（木）8日間

一級河川大川では、現在、河川改修工事を行っています。地元近隣の皆様に、工事車両等で大変ご迷惑をおかけしています。年末年始は、上記のとおりお休みします。来年も引き続き安全には十分気を付けて、工事を行いますので、ご協力をお願いします。

2023.12.4 時点



▲大川へ排水する排水管の吐出口です。▶大川の施工状況です。大型連結ブロックを設置しています。

2023.11.16 時点



2023.12.4 時点



雨水幹線整備等のお知らせです。【ひたちなか市】

【位置図】



①高場雨水1号幹線管きょ布設工事
：ストウ・八木特定建設工事共同企業体
→12月28日（木）
～1月4日（木）8日間

②高場雨水4号幹線管きょ布設工事
：オカベ・上肥特定建設工事共同企業体
→12月29日（金）
～1月7日（日）10日間

③高場雨水9号幹線管きょ布設工事
：鈴縫・横建特定建設工事共同企業体
→12月29日（金）
～1月8日（月）11日間

高場地区は、現在、多くの治水工事を行っている地区です。地元の皆さまに大変ご迷惑をおかけしておりますが、安全に十分気を付けて進めていきます。年末年始は、上記のとおりお休みします。来年もご協力をお願いします。

雨水貯留施設（田彦小）整備工事のお知らせです。

工事名 雨水貯留施設（田彦小）整備工事（R5 国補公下雨第10号）

工期 令和5年9月14日～令和6年3月28日

※下記の時期から現場作業を行います。

令和5年12月10日～令和6年3月28日

作業時間 8:30～17:00

受注者 ストウ・八木特定建設工事共同企業体

TEL 029-274-4141

工事期間中は、地元近隣の皆さまに大変ご迷惑をおかけしますが、安全に気を付けて工事を行います。

12月28日（木）～1月4日（木）8日間

※年末年始は、上記のとおりお休みします。来年もご協力をお願いします。



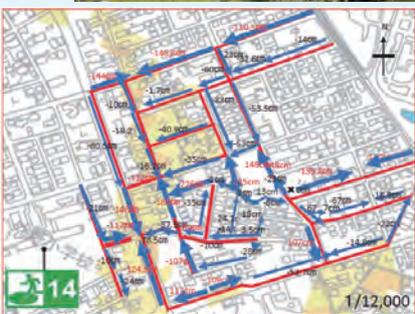
ひたちなか市を題材にした研究発表で、
**鈴木泉輝さん、神澤実優さんが、地盤工学会主催の
 第20回地盤工学会関東支部発表会で発表し、
 齋藤特命教授は、学会に投稿しました!**

鈴木泉輝さん (茨城大学教育学部附属中)
学会発表・受賞

衛星測量を用いた内水氾濫ハザードマップの試み

鈴木泉輝 (茨城大学教育学部附属中学校)・齋藤 修

【要旨】近年、地球温暖化の影響により大型の台風が上陸して、大雨や強風を引き起こしている。実際に2023年は災害が多くなっている。自治体では内水氾濫や洪水、津波などのハザードマップやさまざまな防災ハザードマップを発行し更新している。しかし街は変化している。そこで、街の変化を確認する事と、過去の自然災害を調べ過去と現在を合わせて街の防災を考えることが大切である。2023年9月に上陸した台風13号では、筆者の実家の前が冠水するという被害があった。その時にもハザードマップの確認が重要となった。今回、自治体の発布する内水ハザードマップに測量の技術を利用して地形を知ること、分かりやすいマイハザードの作製を検討した。水準測量のデメリットは天候に左右されることと、1回の計測に10分以上かかってしまうことである。1日に最大で5ヶ所の測定が限界である。また、天候に左右される。そこで筆者は効率の良い測量を検討し、衛星測量に注目した。衛星測量は高さ精度5cmのため、水準測量よりも精度は下がるかと推測する。だが衛星測量は、小雨でもできるし1計測に5分ほどでできるという大きなメリットがある。そこで衛星測量と水準測量のデータを比較し、ハザードマップに展開できるか検討した。



↑水準測量マップ



←計測機器



計測画像→

計測機器の提供は、
 準天頂衛星システム「みちびき」の
 CLASを受信できる簡易測位端末ユニット
 (三菱電機製)です。

**鈴木泉輝さん、地盤工学会関東支部発表会で、
 優秀発表者となりました!今回、初受賞です。
 おめでとうございます。**

神澤実優さん (茨城大学) 学会発表

社会実装に向けた粘り強い堤防に関する実規模大の実証実験計画

神澤実優 (茨城大学)・多田音葉・小林 薫・大藪国博・釜戸則幸・大和田繁

【要旨】短時間大雨の増加に伴い河川堤防の決壊数も増加しており、越水しても決壊までの時間を引き延ばせる「粘り強い堤防」の必要性が高まっている。筆者らは、ホタテ貝殻の保水性等の特異な性質に着目し、既存堤防の裏法面浅層部に貝殻層を敷設することで、(1)雨水浸透抑制機能と(2)耐浸食性を付加可能であることを、室内土槽実験等の制約条件下で明らかにしてきた。しかし、社会実装に向けては、「粘り強い堤防」の技術開発目標(評価の目安)である。①越流水深30cm、②越流時間3時間に耐える堤防の検証と妥当性確認が必要不可欠である。本報告は、1級河川横の屋外に実規模大の貝殻型キャピラリーバリア法面を構築し、短時間大雨時の雨水浸透抑制効果と前記①と②の条件での耐浸食性を、4タイプに区分した実証実験計画について述べる。

第20回関東支部発表会 (GeoKanto2023) 優秀発表者

関東支部発表会グループ

11月22日(水) 国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました第20回関東支部発表会 (GeoKanto2023)の優秀発表者が決定いたしました。優秀発表者は下記の方です。

調査計測2-1	鈴木 泉輝 (茨城大学教育学部附属中学校)	衛星測量を用いた内水氾濫ハザードマップの試み
---------	--------------------------	------------------------



完成した実施施設の様子

茨城大学工学部 齋藤特命教授による授業

茨城大学工学部 AI・ICT 次世代広域応用教育研究センター 副センター長 工学部附属教育研究センター 齋藤特命教授による、ひたちなか市の3小学校(外野小学校、前渡小学校、美乃浜学園)をリモートで結んだ授業を行いました。防災教育がテーマであり、河川課で整備をしている大川の現場から、3小学校の小学生達と授業を行いました。当日は、河川課職員も授業に参加しました。

齋藤特命教授 学会投稿

小学校高学年を対象としたリモート防災教育の試み

齋藤 修 (茨城大学)・小林 薫・塩澤恭平

【要旨】近年台風の大型化やそれに伴う豪雨災害が多発している。まさに、地球温暖化による気候変動での影響である。2023年9月8日には台風13号の影響による豪雨で筆者の自宅周辺も数年ぶりの内水氾濫の被害に襲われた。また首都直下型や南海トラフによる巨大地震の発生が予想されており防災対応は急務である。ハードウェア防災も必要であるがソフトウェア防災へのシフトが必要であり、子供のころからの防災教育が大切である。筆者は地元の小学校の理科授業で防災教育に結び付く様々な試みを行ってきた。2022年度に実践した地元小学校での取り組みや成果、そして今年度の課題を報告する。

リモート防災教育実施

3校連携のリモート学習(防災教育)を今年度検討

↑茨城県ひたちなか市の3小学校を結んだリモート教育(3小学校位置)

↑茨城県ひたちなか市白亜紀層(平磯)からのリモート授業風景

小学校高学年を対象としたリモート防災教育の試み

茨城県ひたちなか市での斜面補強実証実験(大川)



ひたちなか市建設部河川課

那珂川緊急治水対策推進室

〒312-8501

ひたちなか市東石川2丁目10番1号

TEL 029-273-0111 (内線 6418)

「ひたちなか治水だより」は不定期更新でひたちなか市の治水についてお知らせします。

ひたちなか市河川課のホームページでも治水に関する情報を公開しています。
 アクセスはこちら→

